

教科名	理科	単位数	2単位	担 当 者	木川田 敏晴
科目名	地学基礎	年次	2年次(文系)		
使用教科書 副教材等	高等学校 地学基礎(数研出版) リードα 地学基礎(数研出版)				
1 学習の到達目標(育成すべき資質・能力)					
・地学的な事物・現象に主体的に探究しようとすることができる。 ・地学的な見方・考え方を駆使し、発展的な探究をすることができる。 ・観察・実験などがイメージでき、得られたデータを総合的に考察することができる。 ・地学の基本的な概念や原理・法則への理解を深めることができる。					
2 学習の評価(評価規準と評価方法)					
観 点	a. 知識及び技能	b. 思考力,判断力,表現力等	c. 主体的に学習に取り組む態度		
観 点 の 趣 旨	地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。		
主 たる 評 価 方 法	定期考査 小テスト プリントの点検	定期考査 小テスト 実験・実習レポートの点検	行動の観察 定期考査前課題の提出 プリント、実験・実習レポート等		
占 め る 割 合	約 40%	約 40%	約 20%		
3 学習の目標と振り返り					
	《 目 標 》 ～何ができるようになりたいか具体的に～		《 振り返り 》 ～学習の振り返りと今後の課題～		
前 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		

4 学習の内容						
学期	学習内容 (単元)	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c		
前期	第1編 活動する地球 <u>地球の構造、プレート運動</u> 地球の概観について学び、その内部構造、プレート運動について理解する。 <u>地震、火山</u> 地球の活動について理解し、地震や火山活動、火成岩の形成について学ぶ。	◎	○	○	a.プレートの分布と運動、火山活動と地震の発生の仕組みについて理解し、知識を身につけている。 b.火山活動と地震の発生の仕組みを、プレート運動と関連づけて考察し、導き出した答えを表現しようとする。 c.プレートの運動や、火山活動と地震について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	a. 定期考査 小テスト b. 発表の評価 実習レポートの点検 c. 行動の観察 提出物
	第2部 移り変わる地球 <u>地層の形成</u> 堆積岩とその形成や地層と地質構造について学び、地球の歴史の組み立てについて理解する。 <u>古生物の変遷と地球環境</u> 古生物の変遷と地球環境の変化について理解し、先カンブリア時代や顕生代について学ぶ。	◎	○	○	a.地層の形成や地質構造、古生物の変遷と地球環境について関心を持ち意欲的に探究しようとする。 b.地質構造、古生物の変遷と地球環境の変化について理解し知識を身につけている。 C. 地球環境の変遷と古生物の変遷を関連付けて考察できる。	a. 定期考査 小テスト b. 発表の評価 実習レポートの点検 c. 行動の観察 提出物
後期	第3部 大気と海洋 <u>地球の熱終始</u> 大気圏について理解し、水と気象の関係を学ぶ。 <u>大気と海水の運動</u> 地球全体のエネルギー収支について理解し、大気の大循環や海水の循環、日本の天気について学ぶ。 第4部 自然の共生 地球環境に及ぼす人間活動の影響について理解し、日本の自然災害と防災について学ぶ。	◎	○	○	a.大気の構造と地球全体の熱収支、大気の大循環と海水の運動による地球規模の熱の輸送について理解し、知識を身につけている。 b.太陽放射と地球放射の熱収支、および太陽放射の受熱量の差異と地球規模の熱輸送を関連付けて考察し、導き出した答えを表現しようとする。 c.大気の熱収支や日本の自然環境について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	a. 定期考査 小テスト b. 発表の評価 実習レポートの点検 c. 行動の観察 提出物
	第5部 太陽系と宇宙 <u>太陽系と太陽</u> 太陽系を構成する天体および太陽の特徴について学び、地球環境との関連を学ぶ。 <u>宇宙の誕生</u> 宇宙の成り立ちから、物質ができるまでのメカニズムを理解する。	○	◎	○	a.太陽系の惑星の特徴、恒星の進化、宇宙の誕生と銀河の分布について理解し、知識を身につけている。 b. 恒星の進化とエネルギー源を関連付けて考察できる。 c. 太陽系の中の地球、太陽と恒星、宇宙の構造について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	a. 定期考査 小テスト b. 発表の評価 実習レポートの点検 c. 行動の観察 提出物